

大学院工学研究科機械工学専攻

ディプロマ・ポリシー

機械工学専攻では、別に定める修了要件を満たした学生に修士(工学)の学位を授与し、以下の知識、能力、態度が身についていることを保証します。

1. 熱流体工学、固体力学、材料・加工、制御工学のいずれかの分野に関する高度に専門化された知識を駆使して研究を進めることができる。
2. 機械工学とその周辺領域の問題解決にあたり自らの知識に基づく判断ができる。
3. 広い分野の知識を統合して、機械工学の特定の問題に対する解決策を示すことができる。
4. 予測不能で複雑な問題に対して独自の戦略的アプローチで取り組もうとする態度を身につけている。
5. 専門領域に関する問題解決のためのチームとしての取りまとめやその達成度の検証ができる。

カリキュラム・ポリシー

機械工学専攻では、専攻の人材養成に関する目的を達成するため次の方針に沿って教育を行います。

1. 学士課程で培った基礎能力を発展し、得意分野をさらに掘り下げる高度な専門的教育を受けるとともに視野を広げバランスのとれた隣接分野の知識を得ることができます。
2. 研究を通じた教育や実践により、研究推進能力、研究成果の論理的な表現能力、論文発表能力、外国語文献調査能力を養うことができます。